

世界で活躍する 競歩選手を目指して

競歩を始めたきっかけは？

小学生の頃、彫刻の道マラソン大会に出場したことがきっかけで、「自分には陸上に向いているのかな」と感じ、中学から陸上を始めました。高校では、駅伝がしたいと思って入部しましたが、走り続ける中で「何か新しいことに挑戦したい」と思うようになり、長距離から競歩に転向しました。

転向して感じたことは？

競歩は、常にどちらかの足が地面から離れないように歩くなどのルールが厳しく、普段使わない体の動きのため、最初はよく怪我也しました。他の選手を参考にしながらフォームの研究を繰り返し、日誌を書いて日々の練習を振り返り、少しずつ課題を克服しながら取り組んできました。競歩は競技時間が長い分、練習結果がタイムで表れやすいことに楽しさを感じています。

これまでにどんな経験を？

高校1年の冬で競歩パートの先輩が引退し、自分ひとりになった時に辞めようと思ったことがありました。しかし、ここで辞めたら、村山さん（詳細は7ページ）や歴代の先輩方が築き上げてきた「競歩の文化がなくなってしまう」と思い、続けることを決心しました。その結果、先日のインターハイで優勝できたのは、競歩をしてきて1番嬉しかったことです。

これからの目標は？

今の目標は、11月に出場する高校最後の記録会で5,000m競歩の高校歴代新記録を更新して優勝することです。大学でも競歩を続け、世界陸上やオリンピックで活躍できる選手になれるよう、これからも頑張ります！

逢坂
おうさか

草太朗
そうたろう
さん

(白金・17歳)

白金小学校→猪名川中学校→川西緑台高校

令和5年度全国高等学校総合体育大会陸上競技選手権大会（インターハイ）の5,000m競歩に出場し、大会新記録（20分6秒58）で優勝。国民体育大会（鹿児島国体2023）の5,000m競歩に出場し、優勝。



「瞬トキメキ」の掲載希望者を随時募集中！
※詳細は町ホームページ

